

# Helix Visual Client P4V 2020.1のインストール手順（Linux編）

## 説明

LinuxOSでのHelix Visual Client P4Vのインストール手順は以下の通りです。

## 手順

### 1. インストーラのダウンロード

Helix Visual Client P4Vのインストーラをダウンロードし、任意のディレクトリへ配置します。  
※この手順では、[/tmp](#)配下に配置して説明します。

ダウンロードファイル名 : Helix\_Visual\_Client\_for\_Linux.tgz

#### ダウンロードサイト

[Helix Core \(Perforce\) 製品ダウンロード](#)

### 2. 圧縮ファイルの解凍

① ダウンロードファイル(Helix\_Visual\_Client\_for\_Linux.tgz)を解凍します。

#### 解凍コマンド例

```
# tar xvzf /tmp/Helix_Visual_Client_for_Linux.tgz -C /usr/local
```

解凍後のディレクトリ構成は下記の通りです

```
/usr/local/  
├─ ja_pack  
└─ p4v-2020.1.1966006/
```

### 3. シンボリックリンクの作成

P4V、P4Admin、P4Mergeを起動するためのシンボリックリンクを作成します。

#### シンボリックリンク作成コマンド例

```
# ln -s /usr/local/p4v-2020.1.1966006/bin/p4v /usr/local/bin/p4v  
# ln -s /usr/local/p4v-2020.1.1966006/bin/p4admin /usr/local/bin/p4admin  
# ln -s /usr/local/p4v-2020.1.1966006/bin/p4merge /usr/local/bin/p4merge
```

### 4. 日本語化ファイルの適用

インストール完了後、P4Vを日本語化します。手順2-②で解凍したディレクトリ"ja\_pack"から以下の4つのファイルを次のディレクトリへコピーします。

```
p4admin_ja.qm  
p4merge_ja.qm  
p4v_ja.qm  
qt_ja.qm
```

コピー先フォルダ

```
/usr/local/p4v-2020.1.1966006/lib/P4VResources/translations
```

#### コピーコマンド

```
# cp -p /usr/local/ja_pack/* /usr/local/p4v-2020.1.1966006/lib/P4VResources/translations
```

### 5. P4Vの起動

ターミナルを起動し、P4Vを起動します。

#### P4V起動コマンド例

```
# p4v
```

[接続オープンダイアログ]の赤枠からバージョン情報と日本語化を確認します。

接続をオープン

接続の設定を入力するか、最近の接続またはお気に入りの接続を選択: 接続(C) ▾

リモートサーバ(R) 個人サーバ(P)

次のようにリモートHelixサーバとユーザ情報を入力します。ワークスペースは、接続後に任意で作成または選択できます。

サーバ(S): 1666

ユーザ(U): bruno 参照(O)... 新規(N)...

ワークスペース(W): 参照(W)... 新規(E)...

☒ 起動時にダイアログを表示(D) ヘルプ(H)

Cancel OK

バージョン: P4V/LINUX26X86\_64/2020.1/1966006

### ■ RedHat、CentOSをご使用の場合の追加設定

RedHat、CentOS環境では、デフォルトでインストールされている入力メソッドを使用して日本語入力することができません。日本語入力するためには、以下のコマンドから追加モジュールをインストールします。

#### 追加モジュールインストールコマンド

```
# yum install ibus ibus-gtk ibus-qt im-choser
```

インストール手順は以上となります。